

## 八頭町総合教育会議(第3回) 会議録

- 一. 日 時 平成28年12月16日(金)15:30~16:40  
二. 場 所 八東庁舎 第二会議室  
三. 出 席 者 吉田町長  
山崎委員長 加藤委員 勝連委員 竹内委員  
藪田教育長  
事 務 局 西尾総務課長、田村教育委員会事務局次長、細田社会教育課長  
書 記 山崎副主幹(学校教育課)

### 四. 議事日程

1. 開 会
2. 会議録署名委員の指名
3. 町長あいさつ
4. 協議事項
  - ① H29 当初予算の基本方針について
  - ② 不登校・いじめ防止対策について
  - ③ 郡家西小、郡家東小大規模改修事業について
  - ④ 道徳の副読本の作成について
5. そ の 他
6. 閉 会

## — 会 議 の 経 過 —

1. 開 会 15:30 (次長)

2. 会議録署名委員の指名(次長)

勝連教育委員、竹内教育委員

3. 町長あいさつ(町長)

4. 協議事項(進行:次長)

①H29当初予算の基本方針について

(次長) <資料に基づき説明>

- ・少人数学級の確保(小学校:1学級編成30人制、中学校:1学級編成33人制)
- ・特別支援学級
- ・生活困窮者世帯による「学習支援事業」について
- ・ICT及び校務支援システム導入
- ・プログラミング教育の導入
- ・競技力向上のための指導者の確保事業について

(町長)

特別支援学級設置状況の「資料2」の表では、結局何人の先生が必要なのか分かりません。後日で構いません。配置される先生の人数と支援員の人数も分かるように資料を追加してください。

(次長)

分かりました。

(教育長)

3複、4複というのは、3学年複式、4学年複式の略語です。

(町長)

その考え方も記入してもらえるとよいが。次に、ホッケー場整備工事の財源は何かありますか。

(課長)

財源は合併特例債を。これから協議していかなければなりません。ウォーターベースのマックスのところで計上しています。

(町長)

県からの応援はいただけないのか。

(教育長)

県もキャンプ地誘致で、そういう動きを考えているようですので、やりたい旨の相談をしなければ、全く知らないとは言えないと思います。

(次長)

補助の上限は決まっているので、2/3 としていても 1/2 になることもあり得ると思います。

(教育長)

県とは、折衝の余地はあると思いますし、県も東京大会に向けて追い風はあると思います。

(委員長)

県や体育協会からも後押しをして貰えたらと思います。

(町長)

また、よく聞いていただきたいのが、夏ですし、シャワー室も必要になりはしませんか。ミーティングルーム等、補足的な事も考えざるを得なくなるのではないのでしょうか。八頭高にも確認をしていただきたい。

## ②不登校・いじめ防止対策について

(次長) <資料に基づき説明>

(町長)

中学校の不登校生徒で、平成 27 年度との比較はどうでしょうか。

(教育長)

年なりもあります、現時点で今年の方が多ようです。

(委員長)

この度の視察で、学校以外の先生が居られ、関係機関との接続を図るSSWは大事だと思いました。

(町長)

週に 1 日しか来てもらえないとの事ですが、人が居ないということでしょうか。

(教育長)

県に要請をしています。今、来て貰っている方には、毎日でもよいと言って貰っていますが、視察での和歌山湯浅町では、保育所の所長を退職された方が、フルタイムでやっておられました。家庭教育支援チームを上手く使っていました。児童生徒数、家庭数の規模が、すこし我が町の方が大きいので、同じ動きが出来るのかというと、そうではないかもしれませんが、毎日居られるというのは、大きいと思います。

(町長)

小学校を中心に対応しているということですが、実際、フルに出られても対応出来ないのではないのでしょうか。

(教育長)

中学校の段階までに小学校で芽を摘んでしまおうというのは、そういった動きに特化して動いてもらうというのが効果的であると思うからです。やはり、不登校対策だけでなく、不登校ではない子も支援が必要な子もいますので、そういったところに力を入れて貰っています。最近の傾向は、保護者のもう一押しがない。もう一押しして押し出せばいいのにといいところです。

(次長)

子離れ出来ないと言いましょうか。

(加藤委員)

湯浅町での様子を聞いて、もっと家庭教育支援チームとも連携をして取り組めると良いと思いますが。

(教育長)

圧倒的に時間数が足りなくてそこまでできていません。

(委員長)

小さい学校でも不登校はあります。担任が抱え込んでしまうと大変です。人との接し方が分からない子がいるようです。支援員が、その子にあった声かけによって会話が出来るようになり欠席が減ったという子もいました。

(町長)

SSWは、資格が必要ですか。

(教育長)

これといったものはありません。国家資格みたいなものではありません。ただ、こういった資格を持っているのが望ましいというものがあります。そういった中で、県は養成講習を行っています。

(町長)

研修を受けたらいいということですね。

(教育長)

はい。ただ、いろいろな所に繋ぐということで、心理士、社会福祉士関係の幅広い知識が必要となります。

(加藤委員)

家庭のもう一押しというところが、難しいようです。上の子が不登校だと、下の子ども兄弟で不登校傾向となることがあります。子どもも含めて親にも話しをしていかなければならないというような経験がありました。

### ③ 郡家西小、郡家東小大規模改修事業について

(次長) <資料に基づき説明>

(町長)

いつまでも古い学校を使えるとは思っていませんが、念頭においておかなければならないということですね。

(次長)

今後の財政計画などで検討していただけたらと思います。

(西尾課長)

ちなみに、これが大規模改修40年だとすれば、耐用年数はいつを想定してありますか。

(次長)

鉄筋コンクリートで50年。

(西尾課長)

10年持たせるために。

(次長)

30年は最低延びると思います。

(西尾課長)

国の永年計画ではそもそも鉄筋コンクリートは、後ろが65年です。もつかもたないかは関係なく何をしても永年の後ろを想定してあります。文科省の場合は、40年で大規模改修とすると、後ろをいつまでの想定としているのかと思ひまして。限りなく延びるわけではありません。

(教育長)

40年は、国庫補助対象になるかどうかの線引きであつて、40年を過ぎないと使えません。いずれにしても、それにのせないと出ないというところで挙げさせてもらいました。

(次長)

問題提起です。

#### ④ 道徳の副読本の作成について

(次長) <資料に基づき説明>

(町長)

委員さんは、どういった方を想定していますか。

(教育長)

基本は、学校の先生です。

#### 5. その他

\*質疑なし

6. 閉 会 16:40 (次長)